

賛助会員発表／Publishers' Presentations

DVD 機能を活かした一般教室教材：BBC ドキュメンタリーを DVD 教材に

DVD Meets Students in the Classroom: BBC Documentary on DVD

千葉 敦 (常磐大学)

0. はじめに

2007 年春、森田彰 (早稲田大学)、Jeffrey Miller (白鷗大学)、千葉敦 (常磐大学)、佐藤明彦 (拓殖大学)、長田宣子 (早稲田大学) の共同で DVD 教材を制作し、刊行した*。使用者からは多くの反響をいただき、現在、2009 年春の第 2 弾刊行に向けて準備・作業中である。本発表では、第 1 弾の教材制作に活用した DVD の機能と、テキストを含めた本教材の特長について紹介する。また、第 2 弾において改善をおこなっている点とその変更理由について述べていく。

1. 教材開発の目的

従来型のアナログビデオ教材を使用して外国語の授業を行うと、「巻き戻し」や「頭出し」などの操作に手間取って、授業のリズムを崩してしまうことがある。また、授業の手順によってはビデオ以外に、CD やカセットテープなどを使用する必要があつて、機器の切り替えがスムーズにいかないようなこともある。これらの問題を解決するために、DVD-Video の持つ「映像、音声、字幕を記録することができる」という特性に着目し、DVD1 枚と教科書のみで授業が進められて、誰でも簡単に利用できる教材の作製を目指した。なお、作業に当たっては、出版会社との協議により、以下の 3 つの制約をつけている。

- ① CALL 教室だけではなく、普通教室でも利用できること
- ② 英語があまり得意ではない学生にも利用できること
- ③ 授業のための Classroom DVD と、学生の自習用 Self-Study DVD を作製すること

2. ビデオの特徴

教材の中心となるビデオ映像には、BBC が制作したドキュメンタリーを採用した。ビデオ映像を使った教材では、内容の興味深さに加えて、学生を画面に惹きつけるだけの映像の美しさが不可欠である。そのため、いくつかの選択肢の中から BBC のものを採り上げることとなった。なお、本編で使用されている英文は文法的にやや難易度が高く、またあまりなじみのない語彙も使われていたため、改めて文章を書き直し難易度を下げた。ただし、内容は損なわれないようにしている。

ビデオの音声については、元々の素材がイギリス発音を使用していること、また一方では日本人学生の多くがアメリカ発音の方により親しんでいるということを考慮して、両方の発音を収録した。Classroom DVD と Self-Study DVD のいずれにおいても、音声を選択できるようになっている。

3. Classroom DVD の特徴

普通教室での利用を考えた場合、再生装置として、教室備え付けの DVD デッキ、ポータブル DVD、

9月12日(金) 賛助会員発表 第3室(412)

PC などを使用することが想定される。従って、マウスでもリモコンでも簡単に操作ができて、なお且つ分かり易いメニュー画面を作ることが必要となる。

本教材ではPC であれDVD デッキであれ、DVD の再生を開始すると、まず【Top】画面が表示され、教師はこの画面上でChapter を選択し、【Menu】画面を開くことになる。【Menu】画面は、ビデオ映像に関する操作を行うための【Video】とテキストに準備された練習問題を行うための【Practice】との2段構成になっている。

a. 【Video】の構成

ここではビデオ映像の再生に際し、イギリス発音とアメリカ発音を選択することができる。また、それぞれの発音に対して、英語と日本語の字幕をつけることも可能である。ひとつのビデオ映像に対して、イギリス発音(字幕なし)、イギリス発音+英語字幕、イギリス発音+日本語字幕、アメリカ発音(字幕なし)、アメリカ発音+英語字幕、アメリカ発音+日本語字幕の6つのパターンを使用することが可能であり、指導方針・指導手順に合わせて選択できるようになっている。なお、すべてのパターンで再生が終了したときは、自動的に【Menu】画面に戻るよう設定されている。

b. 【Practice】の構成

テキストに収録されたタスクのうち、音声を使用するものについて、練習と答え合わせができるようになっている。例えば、True or False は全部で5問用意されているが、1～5の番号の横に、音声アイコンと文字アイコンが付けられている。1番の音声アイコンを選択すると、静止画像に切り替わり音声が流れる。静止画像上には、【Repeat】、【Next】、【Menu】の文字が現れ、それぞれにリンクが張られている。【Next】を選択すると、2番の問題に移り、同じように【Repeat】、【Next】、【Menu】が現れる。5番の問題の時のみ【Next】の代わりに、【V Grammar and Usage】が現れ、次のセクションに移行できるようになっている。このように一文ごとに区切って次の操作ができるようにすることで、教授方法が多様化することを狙っている。学生の理解度に合わせて、何度も繰り返し聞かせることもできるし、ディクテーションに利用することも容易になる。なお、英文を確認したい場合は、一旦【Menu】画面に戻り、各問題の文字アイコンを選択すると、音声とともに静止画面上に英文が現れる。

4. Self-Study DVD の特徴

付属のSelf-Study DVD には、Classroom DVD と同じビデオ映像が収録されている。ただし選択できるのは、イギリス発音かアメリカ発音かということのみで、字幕の機能は付いていない。学生はあらかじめビデオ映像を見て授業の準備をし、授業後もう一度見直して授業で得たものを確認することが期待される。

5. テキストの特徴

事前に予習できるタスクと授業に出席しなければならないタスクとを明確に分けた。これにより、学生の学習進行度をある程度統制することが可能となり、授業への参加意欲が継続するような仕組みになっている。

注

BBC Short Clips on DVD 「やさしい英語で学ぶBBCドキュメンタリー」 成美堂